

開催日時	平成 27 年 10 月 27 日（火） 18：00～19：30
開催場所	コアかがやき
参加人数	14 人
出席議員	畑中優周 副議長（石炭対策・関連エネルギー調査特別委員） 村上和繁 議員（議会広報特別委員、総務文教常任委員：司会） 三木 均 議員（議会運営委員、民生福祉常任委員） 酒巻勝美 議員（経済建設常任委員） 渡辺慶藏 議員（都心部市街地整備特別委員長）
質疑応答の内容	<p>問：市の事業で高齢者バス等利用助成制度があるが、年末にはバス券を使い残してしまう。単にバス会社への支援になっているのではないか。バス券を多くの方が使えるように考えてほしい。</p> <p>三木：高齢者バス利用助成券の利用状況だが、申請して受け取っているにも関わらず、使いきれていないのが課題である。その理由としては、非課税の方が対象なので、所得確認の関係で交付が6月以降になること、また100円券しかないことも不便であり、そうした課題は委員会でも議論されている。</p> <hr/> <p>問：水産加工場のバスやゴルフ場のバスは自宅の前まで迎えに来ているが、公共バスはバス停にしか止まらず、しかも人が乗っていない。除雪の課題もあるが、発想を転換して自宅前で止まるように考えてもよいのではないか。マイクロバスなどを活用して小まめに住宅街を回れるようにしてはどうか。</p> <p>酒巻：路線バスにマイクロバスを活用してはどうかとの提案だが、そこまでは議論できていない。貴重な意見として受け止める。路線バスの日中の有効活用をバス会社と考えたい。</p> <hr/> <p>問：地域に町内会がなく、防災のシミュレーションがあってもどこに行ったら良いかわからない。地域に市役所職員がいても町内会を作ろうとの声が上がらない。</p> <p>村上：町内会の組織率が低くて問題になっている。議員としても町内会の結成や活性化に力を尽くしたい。文苑や新興住宅地に</p>

	<p>も町内会ができるよう努めたい。</p> <p>問：マイナンバー制度が始まるのに国勢調査を行うのは無駄ではないか。税金の無駄遣いだ。</p> <p>畑中：話はわかるが市議会の報告会であること理解してほしい。</p> <p>問：18歳以上に選挙権を引き下げるのは、おかしい。また最高裁判事の国民投票も無駄だ。</p> <p>村上：選挙権については、決まっていることなので、選挙に関心を持ってもらえるよう、しっかり判断を持って投票所に足を運んでもらえるよう啓発するとともに、参加できるよう応援したい。選挙管理委員会も取り組んでいるが、意見があったことは受け止めたい。</p> <p>問：市民税の確定申告だが、ある時から用紙が送られてこなくなった。収入が把握されているからとのことだが、医療費控除もあるのではないか。妻は介護保険になっているが、なぜ自分の収入が関係するのか。固定資産税をなぜ負担しなくてはならないかわからない。</p> <p>三木：事務的に詳細な点はここでは回答できない。</p> <p>村上：収入による課税部分、資産に係る課税部分など、日本の税制がそのように組み立てられている。</p>
<p>議会への 意見・要望</p>	<p>意見：こうした議員と住民の懇談会では、色々な意見が出るが、市の理事者ではないので、後で返事するとか、伝えるという対応で良い。</p> <p>市議会について関心を持ち、協力するであれ、批判するであれ、傍聴すればいい。議会質疑の一問一答方式は非常にテンポが良く、インターネット中継もスムーズで聞きやすい。</p>
<p>市への意 見・要望</p>	<p>問：春先に市が道路の清掃をするが、清掃前の方がきれいだ。毎年実施している事業だから今年もやっているぐらいに思える。</p>

事業効果を町内会に確認するべきだ。

酒巻：貴重な意見をいただいた。費用対効果の件では委員会で議論していないので、持ち帰って議論したい。

問：家の前に雪を押すなど、除雪の件で道路事務所を訪ねたことがあるが、相変わらず道路の真ん中だけを除雪している。担当者と話をして、「できない」の一点張りで責任者に会わせない。広報では聞こえが良いことを書いてあるのに、適当な返事だ。警察に電話して、除雪作業を見てもらったときは、きれいに作業していた。

酒巻：市の道路除雪は、市内を6つのブロックに分けて対応している。ブロックの中でも雪が降るたびにスタートの位置を変えており、なるべく特定の地区が遅くならないように配慮して取り組んでいる。除雪作業は夜・夜中をかけて実施しており、自宅前を除雪した後に、道路除雪が入って自宅前に雪を置いていくという苦情もある。市民の協力をもらって一緒にやらなくてはならないことなので理解してほしい。今日もらった意見についても担当に伝えるとともに、さらに議論したい。

問：釧路町では、大きい機械と小さい機械を使い分けて除雪しているとのこと。道路管理者としての義務は果たすべきで、予算の問題でない。

酒巻：幹線道路と住宅街の中の主要道路は排雪しているが、住宅街の道路全ては排雪できない。必要な予算はかけるが、道路の延長はかなりある。

問：予算があってもなくても、すべて排雪するのが、管理者としての責任ではないか。理由を聞いても「できません。」という答えしかない。

酒巻：理解してもらおうということも必要。職員の説明が不足していることは確認して担当に伝える。

村上：除雪について私もたくさん苦情を聞いているが、私どもは議員の立場なので約束できないこともある。できることは聞いたことをしっかり伝えることと、所管の委員会の中で議論する

ことなので、その点はしっかり取り組みたい。

畑中：貝塚に住んでいるが、美原のように歩車道が整備されておらず、歩道・車道の区別が少なく、除雪には苦慮している。全て排雪できればいいのはそのとおりだが、バス通りとか学校に近い道路が優先で、なかなか住宅地の生活道路はできていない。ご指摘の旨は伝えるが、今年の冬からできるかは約束はできない。

村上：これ以上議員としてお答えすることが難しいことを了解していただきたい。

問：美原 1 丁目に住んで 35 年ぐらいになる。転居してきたときの条件として、10 年は土地利用に関する規制があると聞いた。その後規制がなくなったので、自宅を改装して保育ママとしての活動を考え建築申請したら、認められなかった。

営業になることは認められないはずなのに、元官舎が転売されマンションになった。住宅地と商業地に分けているのに、保育ママがダメでマンションが許される理由がわからない。

また最近、一人暮らしの老人も多くなり、そうした人に向けたお茶飲みや卓球ができる 20 畳ぐらいの場所をつくるつもりでいる。そして次の段階として、施設に入れたい要支援や要介護の人を集めてデイサービスをしたいと考えているが、これにも規制がある。規制を外すにはどうしたら良いか。

村上：建物を建てて良いか悪いかは、都市計画で決められているので、都市計画を変更しなくてはならない。制度の中で建てられる建物とそうでないものがある。詳しく場所を聞きたい。規制内容を伝える。

三木：お年寄りが住み慣れた地域で暮らしていくために、医療や介護などのサービスを地域の中で皆で協力してやっていくよう、地域包括支援センターが中心となって組織づくりをしており、この仕組みに地域の人にも協力してほしい。

問：文苑湯の近所には小さい子が多いが、図書館まで行くのが大

変であると図書館に連絡したら、「コアかがやきに図書室がある」と言われた。子どもをバギーで連れて行ける距離ではない。地域で子どもを育てたいと思っており、図書館バスを増やして、是非文苑2丁目に来てほしい。

村上：具体的に場所を聞いて担当に伝えたい。